

新しい人名用漢字九百三十三字がまもなく公示される。今回は四百八十八字の大幅な追加だ。常用漢字が千九百四十五字から千九百五十三字に増えるようになる。しかし漢字の専門家の眼から見て、これら二千九百二十八字の字体は非常におかしい選定がなされている。新字と旧字が使い分けられなくなり、全一貫性がなく、下の表では、子の名に使える漢字に○を、使えない漢字に×を付けてみた。なぜこんな変なことになっているのだろうか。実はこの背後には、人名用漢字の全一貫性のない度重なる方針変更がある。

昭和三十二年の戸籍法施行規則に始まる。出生届に書く名を当時の当用漢字表千八百五十字に制限するというのが、昭和二十二年の戸籍法施行規則に始まる。出生届に書く名を当時の当用漢字表千八百五十字に制限するというのが、昭和二十二年の戸籍法施行規則に始まる。出生届に書く名を当時の当用漢字表千八百五十字に制限するというのが、昭和二十二年の戸籍法施行規則に始まる。

安岡 孝一

一貫性ないおかしな選定 新字から旧字中心主義に大転換

27日に公示される人名用漢字の新字旧字の使用比較

欧○	歐×	搖○	搖○	哨×	哨○	礼○	禮○
殴○	毆×	瑤○	瑤×	消○	消×	社○	社○
鷗×	鷗○	謡○	謡○	梢○	梢×	祁×	祁○
俠×	俠○	喝○	喝×	硝○	硝×	祈○	祈○
峽○	峽○	渴○	渴×	鞘×	鞘○	祇×	祇○
挟×	挟×	掲○	掲○	濯○	濯×	祉○	祉○
狭○	狭○	掲×	掲×	濯×	濯○	祝○	祝○
勞○	勞×	謁○	謁○	權×	權○	祖○	祖○
榮○	榮○	僧○	僧○	耀○	耀×	祢○	祢○
螢○	螢×	僧×	僧○	曜○	曜×	祐○	祐○
營○	營×	增○	增○	耀○	耀×	神○	神○
壤○	壤×	增×	增○	躍○	躍×	祥○	祥○
嬢○	嬢○	贈○	贈○	清○	清×	視○	視○
讓○	讓○	堵×	堵○	情○	情×	禱×	禱○
釀○	釀○	渚○	渚○	晴○	晴×	祿○	祿○
填×	填○	猪○	猪○	靖○	靖×	福○	福○
慎○	慎○	猪○	猪○	精○	精×	禍○	禍○
慎○	慎○	諸○	諸○	請○	請×	禎○	禎○
鎮○	鎮○	儲○	儲○	鏘○	鏘○	禪○	禪○



やすおか・こういち氏 1965年堺市生まれ。京都大学工学研究科修士課程修了。同大学大型計算機センター一助教授などを経て現職。著書に「文字コードの世界」など。

示され、当用漢字表が廃止された結果、人名用漢字も大きく方針変更せざるをえなくなった。旧字は基本的に子の名に使えないことになったのである。ただしこれには例外があつて、当用漢字表は、平成二年の人名用漢字中心主義への大転換で示された結果、人名用漢字も使つてよい、ということだ。この結果、人名用漢字では、多くの字で旧字と新字の両方が使えることとなった。昭和二十六年と五十二年に内閣告示された人名用漢字表について、

この追加でも踏襲され、字の際には耀や耀など新字のみの追加となった。国語審議会の字体表に対して、今回の人名用漢字の追加は、従来の方針を一八〇度転換したものである。今回、追加される四百八十八字の大半は、鷗、俠、榮、填、槓、擢、權、鏘、禱などの旧字である。新字は松と祢の二字だけで、旧字の檜と禰に併せて追加されるものだ。つまり、この追加は、旧字中心主義への大転換である。

は、清や嬢など旧来の当用漢字表の字も使つてよい、ということだ。この結果、人名用漢字では、多くの字で旧字と新字の両方が使えることとなった。昭和二十六年と五十二年に内閣告示された人名用漢字表について、

人名漢字 大幅追加

と人名に関しては様子が違つていた。当時の法務府民事局は、当用漢字字体表のみならず当用漢字表の字も引き続き子の名に使用してよい、という見解を示したのである。たとえば、清や嬢などの当用漢字字体表の字だけで

は新字になつていったが、清や嬢は旧字だった。したがつて、この時点で人名用漢字は、新字と旧字が混

とところが、昭和五十六年に常用漢字表が内閣告示された。

京都新聞2004年9月17日

してその標準となるべき字体を示したものでしたが、その内容は旧字こそ正字であると言わんばかりだった。今回追加される人名用漢字は、もちろん常用漢字以外の漢字だから、国語審議会に從うなら旧字中心主義を取らざるをえない、ということである。

しかしながら人名用漢字には、新字旧字併用主義だった頃に追加された字もある。この結果、全体としては、新字と旧字が使い分けられなくなり、一貫性がなくなつてしまつた、というわけだ。どうせ旧字を追加するならば、もっと徹底的に歐や螢や清なども追加してほしかった、と思つるのは私だけだろうか。

(京都大学人文科学研究所附屬漢字情報研究センター一助教授)